

## 水銀に関する水俣条約の有効性を考える ～ 条約発効5周年を機に ～

2017年8月に発効した水銀に関する水俣条約は、水銀及びその化合物の人為的な排出及び放出から人の健康及び環境を保護することを目的とし、水銀の採掘から貿易、使用、排出、放出、廃棄等に至るライフサイクル全体を包括的に規制する国際条約です。本条約においては、製品中の脱水銀化や製造プロセスの転換、より高度な排出・放出制御技術の適用等、様々な技術及び制度を複数組み合わせることで対策を講じていくことが求められています。これらの対策はそれぞれに有効と考えられますが、いつまでにどのような対策をすると環境中の水銀濃度は減少し、水銀への曝露が減少するのかが定かではありません。また、社会の変化、特に気候変動対策と水銀対策との関係にも注意が必要です。このような問いに答えるべく、環境研究総合推進費において研究を進めています。最新の研究や現在の状況と今後の課題・対応について講演・紹介いただくとともに、水銀に関する水俣条約の有効性について会場を交えた議論を行いたいと考えています。

1. 日 時：令和4年9月8日（木） 13:00～17:20（12:30 受付開始）
2. 場 所：京都大学東京オフィス 10階（右：アクセス図）  
（東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10階）
3. 主 催：環境研究総合推進費 SII-6
4. 共 催：環境省・（一社）廃棄物資源循環学会
5. 参加費：無料（\*ただし、事前に申し込みをお願いします。）
6. 定 員：現地：70名（定員になり次第締切とさせていただきます。）

Web：150名

7. 申込方法：廃棄物資源循環学会ホームページ  
（[https://jsmcwm.or.jp/?page\\_id=26982](https://jsmcwm.or.jp/?page_id=26982)）からお申込ください、
8. 問合せ先：参加申込：廃棄物資源循環学会事務局 小寺 03-3769-5099, E-mail: [jimu02@jsmcwm.or.jp](mailto:jimu02@jsmcwm.or.jp)  
取材申込先：京都大学 高岡昌輝 E-mail: [takaoka.masaki.4w@kyoto-u.ac.jp](mailto:takaoka.masaki.4w@kyoto-u.ac.jp)



### 9. プログラム：

- |             |                                     |                        |
|-------------|-------------------------------------|------------------------|
| 13:00-13:10 | 開催挨拶及び趣旨説明                          | 京都大学大学院工学研究科 高岡昌輝      |
| 13:10-13:40 | 水銀に関する水俣条約の現状と課題                    | 環境省 環境保健部 水銀対策推進室 吉崎仁志 |
| 13:40-14:10 | 水銀排出削減・管理技術の現状と将来                   | 京都大学大学院工学研究科 日下部武敏     |
| 14:10-14:40 | 水銀の使用と貿易                            | 国立環境研究所資源循環領域 中島謙一     |
| 14:40-14:50 | 休憩                                  |                        |
| 14:50-15:20 | 水銀排出の現状と将来：気候変動対策と水銀対策              | 国立環境研究所社会システム領域 花岡達也   |
| 15:20-15:50 | 人為由来水銀による環境中水銀含有量の推移                | 国立環境研究所環境リスク・健康領域 武内章記 |
| 15:50-16:20 | 水銀曝露リスクの推移                          | 国立環境研究所社会システム領域 林岳彦    |
| 16:20-16:30 | 休憩                                  |                        |
| 16:30-17:10 | 質疑・パネルディスカッション<br>質疑とともに有効性評価に関する議論 | 座長：京都大学大学院工学研究科 高岡昌輝   |
| 17:10-17:20 | 閉会挨拶                                | 京都大学大学院工学研究科 高岡昌輝      |